

仁淀川流域 広域観光振興計画__概要版

① 計画策定の目的と推進期間

仁淀川流域 広域観光振興計画は、一般社団法人 仁淀ブルー観光協議会が舵取り役となり、「5年後に目指すべき」広域観光振興の姿を実現することを目的に、計画を策定する。
本計画の推進期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とする。
※観光を取り巻く環境の変化に応じて、随時計画の見直しを行うものとする。

③ ありたい姿（ビジョン）

地域の方々とともに、「奇跡の清流、仁淀川」＝「仁淀ブルー」というブランドを確立することで、多くの魅力的なコト・モノ・ヒトがある仁淀川流域に交流人口を創出し、地域経済が活性化されている。そのありたい姿を実現するため、仁淀ブルーを起点に、自然・歴史・文化・産業・食・人といったここにしかない価値に訪れる観光客等が満足し、仁淀川流域に、何回も訪れてもらえる魅力的且つ持続可能な観光地域づくりを目指していきます

② 仁淀川流域の提供価値

～仁淀ブルーと呼ばれる、日本一の水質～

『仁淀川は、全国一級河川の水質ランキングで過去10年で8回全国一位となった、四国を代表する「清流」です。この「仁淀ブルー」と呼ばれる日本一の水質を、仁淀川流域のここにしかない価値として磨き上げ、「奇跡の清流、仁淀川」のブランドをより浸透させていきます。』

④ 仁淀ブルー観光協議会の役割（ミッション）

仁淀ブルー・仁淀川
の認知度向上

6市町村と一体で
行う仁淀川流域の
魅力づくり

セールス・プロモーション
による誘客促進

誘客促進による仁淀
川流域の経済活性化

⑤ ありたい姿を実現するための数値目標（KPI）

【1】宿泊者数

【2】入込客数

【3】観光消費額

【4】来訪者満足度

【5】リピーター率

【6】仁淀ブルー・仁淀川の認知度

⑥ ありたい姿の実現に向けた解決すべき課題

【1】観光地域ブランディング

仁淀ブルー・仁淀川の認知度は
高いとはいえない

【2】地域資源の観光化

地域資源を磨き上げ観光資源に
変えることが十分にできていない

【3】効果的な情報発信

観光客に伝えるべきことが十分に
伝えられていない

【4】受入基盤の強化

観光客等のニーズに対しての受
入環境・体制が十分でない

【5】広域観光の推進

連携して多様な魅力を活かした
事業が十分に行えていない

⑦ ありたい姿の実現に向けて狙っていく市場とターゲット

一般旅行市場

関西・中四国の個人・団体

国際観光市場

香港・台湾の個人・団体



サステナブル・ツーリズム及びユニバーサル・ツーリズムの推進と
SDGs への貢献



⑧ 戦略の「5本の柱」

1

仁淀川流域の魅力づくりの強化・推進

2

県内外への情報発信の強化・推進

3

仁淀川流域の受入・おもてなし体制の整備強化・推進

4

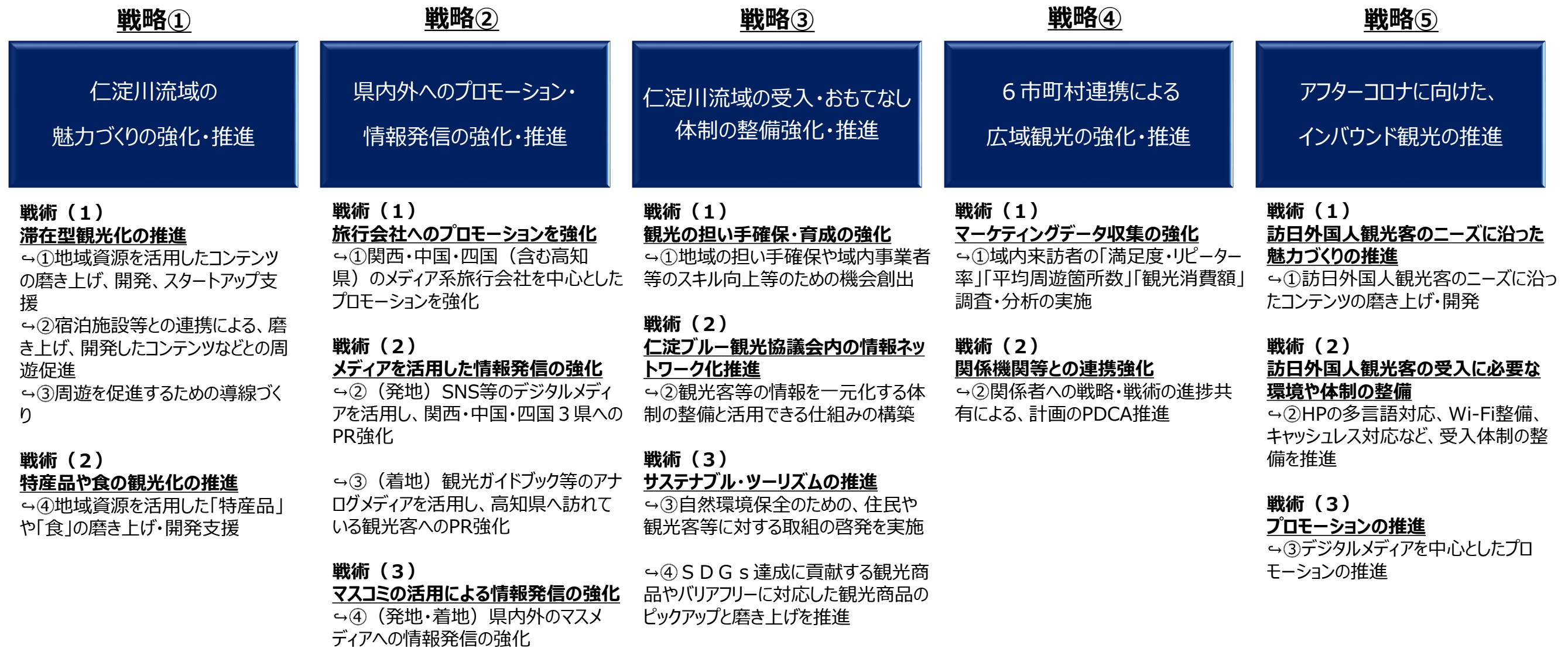
6市町村連携による広域観光の強化・推進

5

アフターコロナに向けた、インバウンド観光の推進

仁淀川流域 広域観光振興計画__概要版

⑨ 戦略と戦術の体系図



⑩ 戦術の役割分担と推進体制・計画

※本編P81～P92を参照

一般社団法人仁淀ブルー観光協議会が舵取り役となり、6市町村及び観光協会、高知県と連携しながら、本計画のPDCAを回し、5年後のありたい姿を実現していく

